

くらき永田保育園便り



18名の子どもたちが保育園を卒園していきました。堂々とした姿で卒園証書を受け取り、大きな声で歌う卒園児たちの成長した姿に保護者も職員も涙が止まりませんでした。テレビや新聞では耳を塞ぎたくなるようなニュースばかりですが、保育園では子どもたちの育ちをみんなで見守りながらハッピーな出来事をたくさんお伝えしていこうと思います。さて、今月から、新しいお友達17名が新たに保育園の仲間入りしました。くらき永田保育園は、これからも「大きなお家」として「子どもの最善利益」を常に考え保育にあたります。

令和6年度は・・・

くらき永田保育園の一年のスタートは参加率90%を誇る『保育計画説明会とクラス懇談会』です。今年度は4月13日(土)午前中に対面型の全体懇談会を開催します。昨年「こども家庭庁」が発足し「こども基本法」が施行されましたが、社会はまだまだ「こどもまんなか」マインドにはなっていません。くらき永田保育園では、行事だけでなく、日常の生活場面においても子どもの参加・参画、そして、子どもの意見表明を大切にするためにどのような保育を展開しようとしているのかをお伝えしたいと思います。また、クラスの先生からの保育方針やお楽しみポイントをお伝えするだけでなく大人同士の交流も深めていきたいと思います。

さらに今年度は今まで以上にこどもも大人も絵本の世界を楽しみたいと考えています。絵本のある暮らししがどれほど親子にとって素敵な時間なのかを子どものとも社の方に語ってもらう時間も用意しています。こちらもお楽しみに。

卒園児の子どもたちから学ぶこと

先月は多くの卒園児さんが保育園に近況報告など含め保育園に顔を出してくれました。保育園での楽しかった思い出話などを聞いていると自分たちの保育を振り返る良い機会となっています。またそういった嬉しい報告とは別に卒園児さんたちは「こども苦労話」などもしてくれるので、そこはしっかりと話を聞くようにしています。今も昔も人生でつまずかない人などいません。でも、危機の分岐点に立った時にフォローしてくれたり、理解してくれる人がいるかいないかで、子どもの踏み出す一歩は全く違ってくることをリアルに感じます。いじめや少年犯罪などの話が嫌でも耳に入ってくる時代ですが、わたしたち大人が目の前の子どもたちをどれだけ受け止め、支えられるのか?自分に問い合わせにはいられません。「三つ子の魂百まで」のごとく人格形成期の「今」はからは取り返せません。困ったときにSOSを言っても大丈夫な大人、困ったときに頭に浮かぶ保育園であり続けたいと思います。

今月の行事

- 1日(月) 入園式
- 2日(火) 慣らし保育開始
- 13日(土) 全体懇談会
- 18日(木) 久保先生のわらべうた
- 20日(土) 布団乾燥
- 29日(月) 昭和の日